

新会長に就任して

厚母庸二



この度計らずも大西前会長の後を引継いで、私が会長の椅子をけがすことになったわけですが、もともとORについてさほど深い造詣があるわけではない私に白羽の矢が向けられましたことは、実に以外に思っておる次第であります。

強いて考えれば、以前私が日科技連の鉱山業OR委員会の委員長を引受けていたのが、多少でもその因念になったかも知れません。

とにかく一旦引受けたからにはその責任をはたすために会員各位の御指導御協力を得て立派な学会にするは勿論、日本はおろか世界のOR学会として引けを取らないものとしたい所存でありますので一層の御協力を御願いたします。

学会と名を打ったからには、余り低級なものを取り扱うこともできないかも知れませんが、皆んなが皆んな最高級の人許りとは限らないと思いますので、一般にわかりのよいしかも実際に役に立つものを取上げて行ったりいとと思っております。またそうしたことの方が一般にもよく認識されることにもなり、会の発展にも寄与すること大なるものがあると信ずる次第であります。

会員の数から申しましてもこの学会が世界の他の学会に比して相当の地位を占めており、またその内容から申しましても若い有力な会員の多いことは私の最も力強く感ずるところであります。

どうぞ今後共各位の御奮闘を願うと共に、会の益々発展を祈って止まない次第であります。